



p1 広島でガンバル企業

ネットなどイマドキのwebを駆使しつつ、リアルな出会いの場で「人、モノ、コト」をつないで、新しい事業スタイルを生み出す。

代表取締役 安村 通芳氏
株式会社 TOWN DESIGN LABO

p3 広島でガンバル企業

後発のヤスリ製造業の挑戦。
CFRP(炭素繊維強化プラスチック)を
切削研磨する高品質高性能な
超精密金属シート「オムニシート」を研究開発

代表取締役 林 光彦氏
株式会社 オリент



HIROSHIMA 広島

のビジネスの発展を図る 2018 No. 110

産振構 NEWS

p5 特集

ソリューション型営業支援事業 (経営基盤強化支援センター)

「おいしい!企業」から『できる!!企業』への成長をお手伝いします。



p7 リポート

- ▶ものづくり企業のための「IoT実践セミナー」を開催
- ▶産学官連携のプロになるための「スタンフォード大学招聘セミナー」を開催
- ▶販売戦略塾の実施状況
売れる商品づくり・仕組みづくりを習得! 販路拡大のための支援をご紹介
- ▶『広島県豪雨災害緊急商談会』を開催!

p9 インフォメーション

- ▶平成30年7月豪雨に係るグループ補助金無利子貸付のご案内
- ▶「創業セミナー」のご案内
- ▶ひろデジが提供するデジタルモノづくりの必須研修!
<MBDプロセス研修(福山会場) 申込み開始しました! メ切1月15日 >
- ▶「第3回次世代ものづくり技術セミナー」のご案内



ひろしま産業振興機構
Facebookはこちらから!



ひろしま創業サポートセンターフェイスブック

検索



広島県よろず支援拠点フェイスブック

検索



ひろしまデジタルイノベーションセンターフェイスブック

検索

広島で ガンバル企業

働き方改革が推進され、多様な働き方に注目が集まっている。ボランティアやアーティストなどさまざまな分野の参加を募り、マルシェなどのイベントの企画、運営を事業として立ち上げた34歳の安村さん。ITをうまく使いこなしながら、有機的に人がつながることによって、新たな事業やコミュニティを形成していく。

株式会社 TOWN DESIGN LABO 代表取締役 | 安村 通芳氏 やすむら・みちよし

コワーキングに関わる人々を支援、CtoC (個人対個人)でマルシェのビジネスモデル構築

安村さんは現在34歳。30歳まで東京のアパレル会社でウェブマネージャーとして働いていた。徳島県や香川県での新店舗立ち上げに関わり、SNSを活用して従業員同士や近隣の店舗とも交流をはかり、ポイントカードなどあらたな企画を提案。デジタルマーケットの運営にも携わってきた。

退職後2015年に古里の広島に帰ってきた。前職での体験をもとに、これまでのBtoB(企業対企業)、BtoC(企業対個人)のビジネスではなく、CtoC(個人対個人)であるマルシェのビジネスモデル構築ができないかとひろしま創業サポートセンター主催の「創業・第二創業セミナー」を受講した。その後創業マネージャーや創業サポーター(専門家)から経営や会社設立のアドバイス、事業運営方針検討の支援を受ける。「当時はマルシェが事業になるという認識も前例もないので難しかったのですが、共感していただき、アドバイスをもらって、ありがたかったです」。

マルシェを事業化できないかと模索を始め、事務所や会議室、打ち合わせスペースなどシェアしながらそれぞれが独立した仕事をするというコワーキングで起業家を応援するポートインク(中区本川町)のオーナーと知り合った。また、そのつながりから知り合った仲間と、



内部の
コーヒースタンド



レインボー倉庫の
外観

web上だけでなく、リアル展開としてマルシェの企画を始めることに。ハンドメイドの作家やクリエイターでこれから創業したい人たちが一堂に会するマルシェを回ごとにテーマを変え、6回開催した。テーマに合わせて、作品を作る人、食や体験イベントの開催を考えている人、カメラマンなどさまざまなジャンルの人が集い、話題となった。

この企画の成功から「東京で注目のグランピングを広島でできないか」と相談を持ち掛けられた。グランピングとは、キャンプ用品やアウトドアの知識がなくても、本格的な食事や快適なテントの設営を請け負う専門集団によって、気軽に自然を楽しめるキャンプスタイル。グランピングを広めるイベントの開催まで行うことが出来た。「アパレル会社でファッションの最先端で働いていたことが知識として役に立ちました」。

さまざまな人が集まってつくるキャラバン(商隊)というイメージで「株式会社エトセキャラバン」を2016年に立ち上げ、共同代表に。固定された従業員ではなく、マルシェの企画のコンセプトに合わせてその都度プロジェクトチームをつくるという。自由に人が集まり、出店、地域の人々に見たり体験してもらう場を提供、そこは新たなコミュニティの場にもなる。

倉庫を活用し、運営などクリエイターの弱点をサポート。意外な相乗効果も。

廿日市にある木材製品の製造および販売を手掛ける株式会社WOODPROが経営し、安村さんが運営をするレインボー倉庫広島(広島市西区商工センター)。中はまるでおもちゃ箱。いくつもの小部屋に仕切られたスペースにカフェ、ネイルサロン、古着などの店があるかと思えば、迷路のような通路に沿ってさまざまな手作りのアクセサリーが並んでいる。探訪する楽しさや思いがけないものに出合うサプライズ感にあふれている。また、ここで販売されている商品はWOODPROが各小部屋を使用するクリエイターと協力して商品開発している。

小部屋には小さな子どもたちが遊べる砂場や積み木、ハンモックなどもある。一階の小部屋はオフィスや制作作業場としてもイベントや展示会場としても借りることができる。2階はワークショップやイベント、撮影のスタジオとして利用でき、ここには子育て世代から高齢者ま



店内には多くの手作り
作品が並べられている



会員限定のフリースペース

で幅広い年代層が訪れている。

カフェスペースは部屋を使用する人々の交流の場にもなるという。「シェアして自由にいろんな使い方ができるスペースをつくりたかったんです。この場所の価値を発信していきたい」と、安村さんは語る。

オープンは2017年5月。2011年3月11日の東日本大震災が起きた頃から流行に左右されるファッションの世界で廃棄される商品の多さに疑問を感じていた安村さんは、WOODPROと協力し、今では使われなくなって産業廃棄物となっている建築用の木材足場板に注目。これを活用できないかと考えた。「廃材をおもしろく利用する会」というコンテンツを立ち上げ、みんなでアイデアを出し合い、地方でものづくりをするクリエイターたちと商品開発にとりかかった。「顔の見える関係を大切に、イラストやデザイン、壁画などの発注も直接話をしながら進めました」。

そうして出来上がったのが、木のアルファベットやおもちゃ。アルファベットは看板やロゴ、インテリアとしても使える。おむすびや卵、だるまのような形をしたおもちゃは、角がなく、木肌の持つ温かさややさしさが伝わってくる。「足場板はすべて国産材で着色料も使用していないので、口に入れても安全。子どもたちの木育にぴったり」。

クリエイター達はものづくりは得意だが、制作場所の確保や広報、店舗の運営など、苦手に思っている人が多い。そこを協働していかに乗り切るか。一人では人を集めるのも難しいが、いろいろなジャンルの作品が一堂に会す

ることで、集客もできる。異分野とつながり、新しい展開が見えてくることもあり、ワクワクするという。

「空き家対策事業」からまちづくりへ。 そこで生まれる新たな事業やコミュニティ。

現在力を入れているのが「空き家対策事業」。昨年、自身が祖母の家を受け継ぎ、空き家はみんなの共通の悩みだということを実感した。仲間を集め、専門家から家の構造や時代による建築の違いなどを学ぶことから始めた。そこには多様な年齢、職業の人が集まり、行政のニーズも高いことを知った。空き家の魅力を再発見するとともに、片付けなどのガイドラインの必要性にも気が付いた。

廿日市市と業務協力し、「空き家の手引書」を作り、「株式会社TOWNDESIGN LABO」と名づけた相談サポートセンターを設立。今年10月には建築デザイナーも同行して、「廿日市商店街空き家めぐり」を開催。何とかしなくてはと思い悩んでいた持ち主が賑わいを取り戻すためならばと10店舗も協力してくれた。来年度には県内の空き家情報を集約し、相談やサポートなど新しい形のサービスを行う事業に乗り出す計画を立てている。

「人、モノ、コト」をつないで、新しい事業スタイルを生み出す安村さん、人との出会いでどんどん新しい発想が生まれてくる。「究極は地域のまちづくり。商店街の活性化も顔が見える関係があればこそ」と意欲を燃やす。

ネットなどイマドキのwebを駆使しつつ、リアルな出会いの場で「人、モノ、コト」をつないで、新しい事業スタイルを生み出す。

株式会社TOWN DESIGN LABO 会社概要

住 所/広島県呉市三条3丁目2番13号
代 表 者/代表取締役 安村 通芳氏
設 立/2018(平成30)年
事業内容/コワーキングスペース運営、グランピングやマルシェなどのイベント開催、空家の再生・活用及び管理



広島で ガンバル企業

呉市仁方は江戸時代末期からヤスリの生産が盛んで、「仁方のヤスリ」として全国に知られる一大生産地として全国シェア95パーセントを誇る。なかでも、「株式会社オリент」は、オンリーワン商品を開発するなど、その開発力と技術力はヤスリメーカーとして高く評価されている。平成28年度から新たな分野に挑戦、精密切削加工用工具のトップメーカーを目指す。

株式会社 オリент

代表取締役 | 林 光彦 氏 はやし・みつひこ

最後発の仁方のヤスリ製造業「株式会社オリент」 オンリーワン商品開発でニッチ市場のトップを目指す

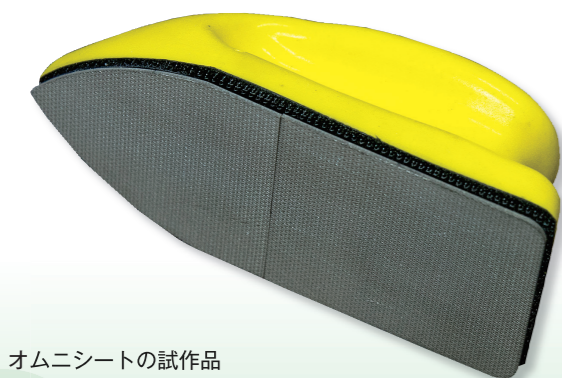
「うちは一番の新参者ですから、開発型企業としてやっていくしか道はなかった」と林光彦代表取締役は言う。創業56年という年月は江戸時代末期からの仁方の歴史あるヤスリ業界では若手なのだ。

仁方のヤスリ製造業者は大手企業のプライベートブランド商品の生産がほとんどで、一般販売は少ないなか、同社は一般に販売されるヤスリをはじめ、さまざまな切削工具の分野ではホームセンターでのシェアは30パーセントを占めている。

設立当時は「鬼目ヤスリ」の専門工場だった。その後、「鬼目ヤスリ」と「製材ヤスリ」の生産能力を強化し、1985（昭和60）年には通商産業省からJIS（日本工業規格）表示許可工場としての認定を受ける。

2006（平成18）年には、安心・安全をキーワードに、ハンディファイル、マイファイルシリーズ等のオンリーワン商品を開発し、小さな市場ながらその精度の高さで絶大な評価を得ている。

6年前、自動車や航空機、ロボットなどに使用されるCFRP（炭素繊維強化プラスチック）を切削研磨する高品質、高性能な工具を研究開発し、規模の小さいニッチ市場で頂点を目指す。



オムニシートの試作品

世界初！厚さ0.5ミリメートルのステンレスシートに 微細な目立てをした超精密ヤスリ「オムニシート」を開発

2016（平成28）年、公益財団法人ひろしま産業振興機構を事業管理機関とする経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」に採択され、国立研究開発法人産業技術総合研究所や広島県立総合技術研究所などからも支援を受けて、3年にわたって『航空機用繊維強化樹脂材料の高効率曲面仕上げを可能とするフレキシブルメタルシートの実用化開発』の研究開発に乗り出した。

「戦略的基盤技術高度化支援事業」とは、「ものづくり高度化法」に基づき国が指定した、自動車、燃料電池、情報家電、ロボットなど我が国の経済を牽引していく産業分野が競争力を発揮するために必要不可欠な高度部材・基盤産業（サポーティングインダストリー）を支える技術12項目の研究開発を支援する事業である。

同社が開発したのは、厚さ0.5ミリメートルのステンレスシートに微細な目立てをした超精密ヤスリ「オムニシート」。ヤスリの「切削」作業と紙ヤスリの「磨く」要素が一つになった世界初のフレキシブルメタルシートで、簡単に曲がり、どんな曲面でも密着させて磨くことができる。

さらに、現在使われている紙やすりの3倍の切削能力と15倍以上の耐久性をもち、性能は飛躍的な進化を遂げた。航空機などのアラミド繊維やCFRP、鉄やアルミ等の難削素材を加工できるこのスグレモノは、「切削と磨きを同時に行い、曲面を精密に加工できる「魔法のヤスリ」と評判は高い。

開発までには6年の歳月を要したと言う。開発のきっかけは某大手メーカーの航空機の部品を製造する現場からの声で、コストや時短によって作業の改善ができないかと打診があった。まず、西部工業技術センターに通い、2～3年をかけシートの開発に専念、さまざまなコーティングやヤスリのメッシュを研究し、特殊なシートが完成した。

しかし、課題はそれだけではなかった。一番苦労したのは0.5ミリのシートの表面に0.3ミリの目立てをするた



ホームセンター向けオリジナルブランド



「メイドインヒロシマ」という
画期的な登録商標も話題に

めの設備。ヤスリの目立て作業は半自動で熟練工の技と時間を必要とする。人手不足の解消とこの技術を女性や若い人でもできる機械設備の開発は必須だった。「まず、将来を見据えて現場のロボット化を図り、熟練工の技術に頼るこの業界の伝統的なものづくりの考え方を変えなくてはと思いました」。

NC（数値制御）目立て加工機を独自に開発、3方向から目立てをする独自のトリプルカットによって、繊維を切って磨くことのできる細かな刃を立て、さらに複合メッキを施して耐久性を高めた。このトリプルカットは「オムニシート」として、商標及び意匠登録を申請中だと言う。

「この事業を進めていくに当たって、ひろしま産業振興機構にはずっとそばで支えていただいた。開発のアドバイスだけでなく、サポイン事業の登録や機密保持に対する指導などきめ細かい対応には、深く感謝している」と林氏は喜ぶ。

使われる現場の声を聞き、 世界基準の切削工具のニッチトッパーに

世界初の画期的な開発となったオムニシートは、平成30年には機械要素技術展、道工具・作業用品EXPOに出

品して、大きな反響を得た。

自動車メーカーをはじめ、ゴルフやテニスなどのスポーツ用品や医療器具などさまざまな業界から毎日のように引き合いがあるという。「ニーズの大きさに驚いている。量産体制を整え、現在の厚さをさらに薄くしたり、サイズの調整などによっても更なる可能性は大きい。作ればいいという感覚ではなく、誰にどんな風に使っていただくのか、明確なものづくりの意識をもって、世界と戦えるいいものを作っていきたい。それには、現場の厳しいナマの声を聞き、従業員が共有することが大事」と語る。

「目指すは切削工具のニッチトッパー。伝統的な仁方のやすり製造の技術を進化させロボット化することで、雇用の拡大にもつながる。地域の衰退に歯止めをかけ、社会貢献していければと期待している。社会に求められているもの、まだ誰も手を付けていない新しいもの、そんな製品づくりを通してオリентの存在を示していきたい」と意欲的だ。

世界基準の切削工具のニッチトッパーを目指すオリентの開発物語。更なる飛躍と新たな展開を予告しつつ、続編へとつながっていく。

後発のヤスリ製造業の挑戦。 CFRP（炭素繊維強化プラスチック）を 切削研磨する高品質高性能な 超精密金属シート「オムニシート」を研究開発

株式会社オリент 会社概要

住 所／広島県呉市仁方棧橋通1511番地
代 表 者／代表取締役 林 光彦氏
設 立／1963（昭和38）年
事業内容／製造業、切削工具（ヤスリ、高精度カスタムツール等の開発）の
製造・販売



ソリューション型営業支援事業 (経営基盤強化支援センター)

「おいしい! 企業」から『できる!! 企業』への成長をお手伝いします。

広島県には、発注者からの高い要求 (品質・コスト・納期・技術力) に応えられる力を持った企業が数多くいらっしゃいます。しかしながら、「自ら新規開拓する営業スキル」や「自社技術・ノウハウの提案等の発信力」が不足しているばかりに、新しい受注を取りこぼしてしまっています。そんな「おいしい! 企業」から『できる!! 企業』への成長を本事業 (ソリューション型営業支援事業) でお手伝いしています。
(平成30年度の支援企業は募集を締め切っております。平成31年度も同事業を実施予定です。)

支援内容

I セミナー開催

中小製造業 (主に機械金属関係) を対象として、販路拡大等をテーマとしたセミナーを開催します。
(※年度によって実施内容は異なります)

(参考: 平成30年度実施内容)

テーマ: 顧客重視の提案営業の進め方 (全2回)

日時: 平成30年5月15日 (火) 10:30~17:30
平成30年5月24日 (木) 10:30~17:30

場所: 広島JAビル 9階 第6会議室 (広島市中区大手町4-7-3)

参加費: 無料

ねらい: 厳しい経営環境の中、中小企業が新たな取引先を開拓し売上を伸ばしていくためには、単に自社の技術や製品をPRするだけではなく、顧客の課題解決につながる提案営業を実践することが重要です。このセミナーでは、顧客のニーズを的確に把握し経営課題の解決につながる提案営業の考え方や実践方法について、ケーススタディ等含めて学んで頂けます。

概要: 「自社商品やサービスを通じて得られるメリットを顧客に分かりやすく伝える」ことをテーマに、企画提案の手法をセミナー、グループワークを通じて学習する。

開催内容

≪ 第1回 (5/15) ≫

- 「ものづくり企業の営業戦略の基本」
- 「提案営業の考え方と進め方」
- 「顧客に提案できる自社の価値認識」
- 「顧客ニーズ(課題)の引き出し方」 演習

≪ 第2回 (5/24) ≫

- 「課題解決に向けた提案書の作り方」
- 「顧客の関心を弾く提案書の作成」 演習
- 「顧客の提案活動に向けて」 自社を考察



セミナーの様子

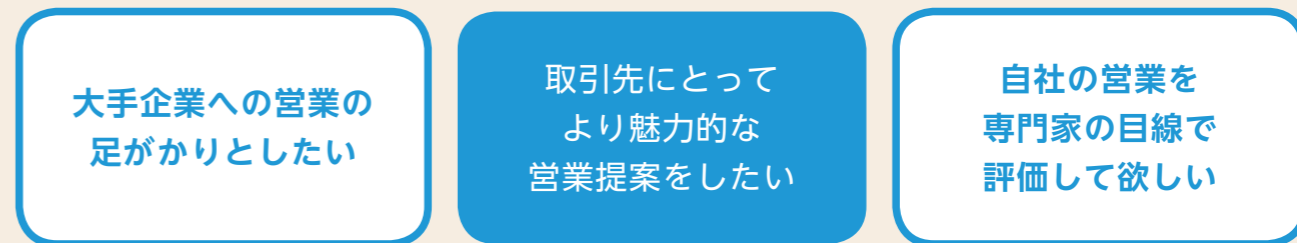


グループワークで企画書を作成。新規見込客に提案するつもりでプレゼン!

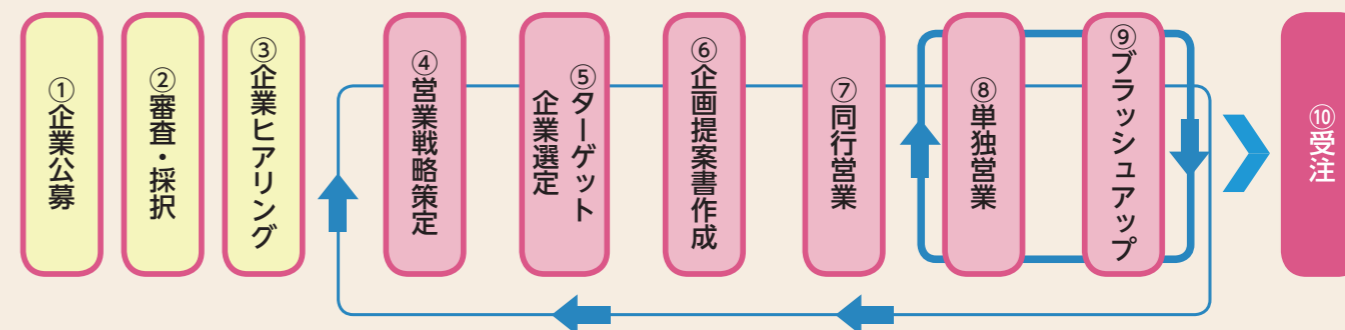
II 専門家によるマッチング支援

マッチング支援機関による、新規取引先の開拓及び営業手法の支援を実施します。

※以下のような経営課題をもつ企業様にピッタリです!!



≪ 事業スキーム ≫



大手企業OB等で構成され、豊富なビジネス経験や出身企業のネットワークを始めとした幅広い人脈を抱えるマッチング支援機関のサポートで大都市圏への支援を行います。

支援企業採択の後、マッチング支援機関によるヒアリングを行い、支援企業とともに営業戦略の策定・企画提案書の作成を行います。ターゲット企業を選定したら、大都市圏 (関東・関西圏) へ同行営業を行い、新規取引先との受注に繋がります。

【マッチング支援機関 (2機関)】

<ul style="list-style-type: none"> ● 特定非営利活動法人 経営支援NPOクラブ (関東圏) ● 支援スタッフ (大手企業OB): 210名 ● 出身企業: 三井物産、三井造船、東芝、富士フィルム、NEC、日立建機等 132社 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定非営利活動法人 産業人OBネット (関西圏) ● 支援スタッフ (大手企業OB): 105名 ● 出身企業: 川崎重工、三菱重工、松下電器産業、神戸製鋼所、ダイハツ、東芝、三洋電気等 60社
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【平成30年度支援企業一覧】

● 関東圏		● 関西圏	
企業名・団体名	住所 (団体の場合は代表企業のもの)	企業名・団体名	住所 (団体の場合は代表企業のもの)
ヤマトプロジェクト	広島市南区大州4-11-39	株式会社プロテック	福山市南蔵王町6-18-40
株式会社向井製作所	広島市安佐北区安佐町久地519-2	株式会社橋川製作所	広島市南区青崎1-4-12
真辺工業株式会社	府中市鶴飼町8009-112	株式会社生田合金鋳造所	呉市広多賀谷1-4-2

お問い合わせ 経営基盤強化支援センター 販路開拓支援担当 TEL 082-240-7704 FAX 082-242-8627

01 Report ものづくり企業のための「IoT実践セミナー」を開催

ひろしまものづくり人材育成センターでは、(一社)インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ(IVI)、ITコーディネータ協会(ITCA)との連携で、IoTの考え方と手法の基礎を学ぶ「IoT実践セミナー」を前年度の県西部(広島会場)に加えて、県東部(福山会場)を追加し、2会場の開催に拡充して開催しました。

●協力 マツダ株式会社・広島ITコーディネータ協同組合

	福山会場	広島会場
実施期間	8/24～8/25(全2日間)	8/31～9/1(全2日間)
開催場所	福山市ものづくり交流館	広島県情報プラザ
参加者	14社19名	14社19名

1日目 ～ ITコーディネータ協会協賛		2日目 ～ IVI共催(体験セミナー)	
講師：アイ・コネクト、叢雲堂		講師：IVI(インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ)	
①IoT概要 (IoTとは)	IoTとは何かをIoT導入効果の視点で学ぶ	①ステップ1 困りごとの共有	現状の課題を明らかにし、現場が“つながる”ことで実現できる理想の姿を定める
②IoT導入プロセス	IoT導入する際の参考となるプロセスを学ぶ	②ステップ2 AS-ISシナリオを描く	具体的な業務場面を想定し、モノと情報の流れを紐解く
③IoT導入事例 架空の事例の演習	IoTを導入する計画策定を模擬体験する	③ステップ3 TO-BEシナリオを描く	あるべき姿のシナリオとその実現手段を描く

概論としてIoT導入のプロセスを学んだうえで、個人の困りごとから始めて、それをIoTにつなげていく道筋・プロセスを学ぶことができた、参加者から好評でした。



お問い合わせ ひろしまものづくり人材育成センター TEL 082-240-7716 FAX 082-242-7709

02 Report 産学官連携のプロになるための「スタンフォード大学招聘セミナー」を開催

カーテクノロジー革新センターでは、ひろしま自動車産学官連携推進会議(イノベーション人材育成委員会)と共催し、「スタンフォード大学招聘セミナー」を開催しました。

スタンフォード大学カレン・エバート・マッシュ教授から、スタンフォード大学が地域企業の「R&D」機能としてシリコンバレー発展に貢献したプロセスや「産学官」のパートナーシップのあり方についての講義の後、グループワークにより「ひろしまイノベーション・エコシステム」の目標やあるべき姿を検討しました。

参加者から、「イノベーションには失敗が許されるマインドが必要であることが認識できた」、「世界の現状を踏まえた広島の産学官連携について継続的な取り組みをしたい」などの意見が出されました。

(セミナープログラム概要)

タイムテーブル	内容
11/14 13:30～	【講演】アメリカの産学官連携の動向 (スタンフォード大学 カレン マッシュ氏) 【事例紹介】スタンフォード大学「シリコンバレーにおける研究開発へのスタンフォードの貢献」 ・カーネギーメロン大学「ロボティクスで街が生まれ変わった!」等
15:30～	【ワークショップ】地域企業の主要ニーズと研究領域 など
11/15 9:00～	【パネルディスカッション】産学官連携の成功要因 【ワークショップ】ひろしまイノベーション・エコシステムの目標と期待される成果
13:00～	【事例紹介】広島大学の新たな取り組み 【講演】世界情勢と日本の現状を鑑みた「産学連携の在り方」(元トヨタ自動車(株)常勤顧問 湯川昌郎氏) 【ワークショップ】ひろしまイノベーション・エコシステム構築計画
11/16 9:00～	【ワークショップ】希望機関との個別フォローアップミーティング(①9:00～、②10:30～)



お問い合わせ カーテクノロジー革新センター TEL 082-240-7713 FAX 082-242-7709 E-mail: atic@hiwave.or.jp

03 Report 販売戦略塾の実施状況 売れる商品づくり・仕組みづくりを習得! 販路拡大のための支援をご紹介

■販売戦略塾とは■

中小企業・ベンチャー総合支援センターでは、県内中小企業の経営者や社員を対象に、自社のマーケティング力の強化を図りながら、個別商品のブラッシュアップ等を通して、“売れる商品づくり・仕組みづくり”を習得し、県産品の県内外への販路拡大を支援しています。

①5月～6月 マーケティング力強化セミナーを開催

2回シリーズで具体例を交えて、マーケットイン発想の必要性、顧客ニーズの把握方法、商品の差別化、効果的なプロモーション、マーケティング戦略の構築などについて学びました。

区分	日時・会場・参加者数	セミナー内容
第1回	5/25(金) 広島: 64社81名 5/26(土) 福山: 21社24名	[マーケティングセミナー] 講師: (株)CDG 代表取締役社長 大平 孝氏 [支援企業事例発表] [地元素材にこだわった新商品開発及び販路開拓] 発表者: (株)カスターニャ 代表取締役社長 竹村 茂氏
第2回	6/14(木) 広島: 58社69名 6/15(金) 福山: 20社24名	[マーケティングセミナー] 講師: (株)CDG 代表取締役社長 大平 孝氏

②11月 ブラッシュアップした商品を県内商談会で力試し

11月28日: 28社がバイヤー13社に提案。

146件の商談が行われました。

バイヤー側からの売り場視点での意見が、参加企業の今後の商品開発にも大きく役立ちます。



<集大成>

2月 首都圏で開催される専門展示会「スーパーマーケット・トレードショー2019」に出展予定

【日時】平成30年2月13日(水)～2月15日(金) [3日間]

【場所】幕張メッセ 全館(千葉県千葉市)

お問い合わせ 中小企業・ベンチャー総合支援センター(起業化・事業化支援担当)
TEL 082-240-7701 FAX 082-249-3232 E-mail: sien-center@hiwave.or.jp

04 Report 『広島県豪雨災害緊急商談会』を開催!

経営基盤強化支援センターでは、平成30年7月豪雨災害に伴う工場等設備への直接被害による操業停止や、物流や道路の寸断による取引停止等の間接被害により今後売上高の減少等経営悪化が懸念される広島県受注企業に対して、減少した取引等の回復を図るための販路の確保を目的として『広島県豪雨災害緊急商談会』を開催しました。

11月26日(月)、ホテルグランヴィア広島にて、広島県内の製造業75社にご参加頂きました。

商談会開催後のアンケート結果としては、発注企業全体の48.4%が受注企業に対し見積依頼を出し、受注企業全体の約7割が「商談会の効果があった」とご回答されるなど、今後の成果に期待の持てる結果となりました。

商談会	受注企業数	発注企業数	総商談数	見積依頼
広島県豪雨災害緊急商談会	75	54	281	48.4%



お問い合わせ 経営基盤強化センター 販路開拓支援担当 TEL 082-240-7704 FAX 082-242-8627

インフォ1 平成30年7月豪雨に係るグループ補助金無利子貸付のご案内

公益財団法人ひろしま産業振興機構は、平成30年7月豪雨により被災された中小企業が、広島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助金（グループ補助金）を受けて施設又は設備の復旧・整備等を行う場合に、被災中小企業施設・設備整備支援事業による貸付を行うこととし、その業務を行うために『復興支援金融センター』を開設（11月1日）しました。

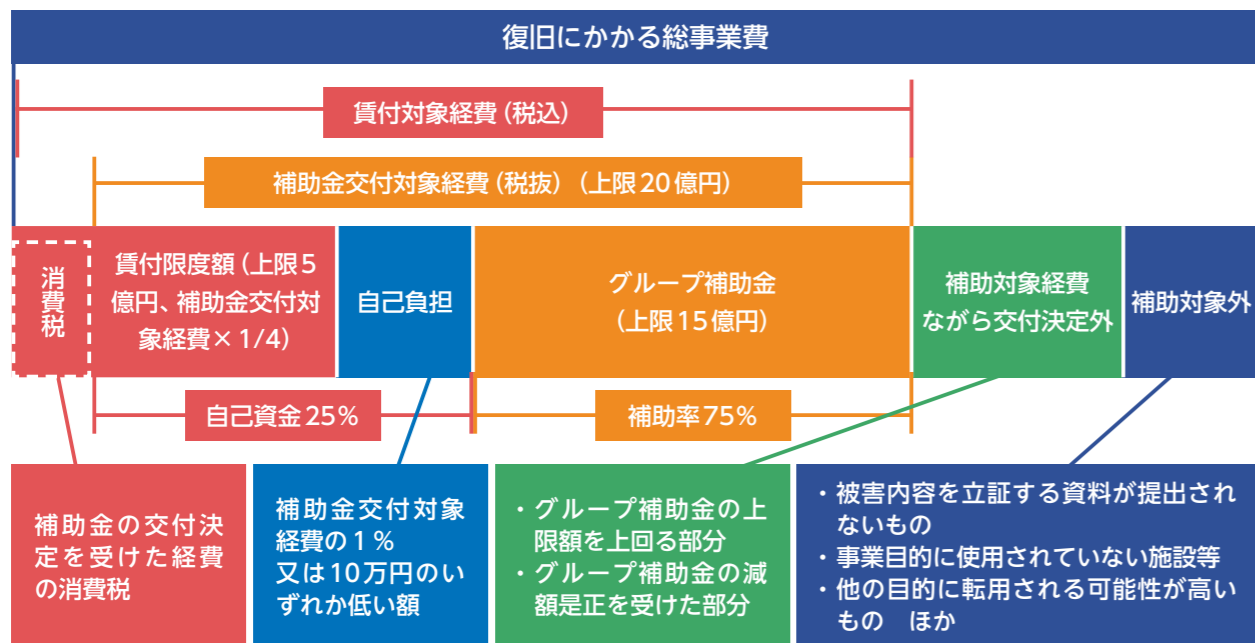
1 貸付制度の概要

貸付対象者	グループ補助金の交付決定を受けた中小企業等
貸付対象経費	グループ補助金交付対象経費として認められた施設又は設備（以下「貸付対象施設等」という。）の復旧・整備等のために要する経費
自己負担	貸付対象経費の1%又は10万円のいずれか低い額
貸付限度額	グループ補助金の交付対象経費に4分の1を乗じて得た額（5億円を限度）に、交付対象経費に係る消費税及び地方消費税の額（20億円に対する消費税及び地方消費税の額を限度とする。）を加えた額から自己負担分を除いた額
貸付利率	無利子
償還期間	貸付対象物件の耐用年数等を勘案して決定（最長貸付期間20年（最長据置期間5年））
貸付資金交付	貸付対象施設等の復旧・整備及び代金の支払の完了を確認後に貸付資金を交付

2 復興支援金融センターの概要

名称	公益財団法人ひろしま産業振興機構 復興支援金融センター
場所	広島市中区基町12-8 宝ビル2階 ※10月22日（月）に県が設置した「広島県グループ補助金業務センター」に併設
受付時間	平日の午前9時から12時及び午後1時から午後5時まで

3 無利子貸付金のスキーム図（中小企業の場合）



お問い合わせ 復興支援金融センター TEL 082-225-8666 FAX 082-221-0777 グループ補助金無利子貸付 広島 検索

インフォ2 「創業セミナー」のご案内

『ひろしま創業サポートセンター』では、創業予定の方や創業して間もない方などを対象に、事業計画書の作成や経営戦略、資金繰りの考え方などが習得できる創業塾・創業入門セミナーのほか、SNSによる販路開拓や客数獲得などのテーマを絞ったセミナーなども開催しています。1～3月は、このようなセミナーのほか、整体・鍼灸院や介護施設などの開業をテーマにしたセミナーも計画しています。皆さまのご参加をお待ちしています。



昨年度のフィジカルケアビジネス創業セミナーの様子

【1～3月のセミナー（予定）】

セミナー名	開催日	会場
府中創業入門セミナー	1/26(土)、2/9(土)	府中商工会議所（府中市）
フィジカルケアビジネス創業セミナー	2/2(土)、9(土)、16(土)	TKP広島本通駅前カンファレンスセンター（広島市）
しゃもじん創業塾	1/12(土)、26(土)、2/2(土)、16(土)	廿日市市商工保健会館（交流プラザ）（廿日市市）

各セミナーの詳細については、ひろしま創業サポートセンターのホームページまたはFacebookページでご確認ください。

【ホームページ】<https://www.hiwave.or.jp/hsusc/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/hiroshima.sougyou.jp>



Facebook

お問い合わせ ひろしま創業サポートセンター
TEL 082-240-7702 FAX 082-249-3232 E-mail: found-support@hiwave.or.jp

インフォ3

ひろデジが提供するデジタルモノづくりの必須研修！ ＜MBDプロセス研修（福山会場）申込み開始しました！メ切1月15日＞

機械・電気・制御ソフトの全要素が含まれたメカトロシステムの教材を用いた演習を通じて、MBDの意義、開発プロセスの全体像、及びV字開発プロセスを実体験いただけます。（東広島会場の研修には、県外からの企業様を含め、多数の方にご参加いただいております！）



人気コースにつき申込みはお早めに！

場所：福山市ものづくり交流館（エフピコRiM 7階） JR福山駅から徒歩5分
日程：全6回【2/18(月)、2/19(火)、2/21(木)、2/25(月)、2/26(火)、2/27(水)】
時間：10時15分～18時15分（初回のみ10時45分～）
参加費用：30,000円/人（全6回分）
詳しくはこちらから <https://www.hiwave.or.jp/hdic/training/1728/>

11/6（火）に開催された東広島会場の様子です



研修機器（昨年度研修より）

※本研修は、「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」により、経済産業大臣から認定されるとともに、厚生労働大臣により、専門実践教育訓練講座としても指定を受けており、受講者は一定の要件を満たせば、雇用保険法第60条の2に規定する教育訓練給付金の支給を受けることができます。これは個人が負担される受講料に対して50%から70%の助成が行われる制度ですので、社労士の方にご相談するなど、当該制度の活用（個人負担分が対象です）もご検討ください。（指定制度については当センターへ、手続きについてはお近くのハローワークにお問合せください。）

お問い合わせ ひろしまデジタルイノベーションセンター（東広島市鏡山3-10-32）
TEL 082-426-3250 FAX 082-426-3251 E-mail: hdic@hiwave.or.jp



インフォ4

「第3回次世代ものづくり技術セミナー」のご案内

製造プロセスのデジタル化が進展する中で、加工技術の一つとしてアディティブ・マニファクチャリング（以下、「AM」）への関心が高まっています。本セミナーでは、その技術動向や適用事例を紹介いたします。

日時：平成31年2月27日（水）
会場：東広島芸術文化ホールくらら（東広島市／西条駅より徒歩4分）

講演者及び講演テーマ（3件）：

講演Ⅰ「三次元異方性カスタマイズ化設計・生産」
大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻 教授 中野 貴由 氏
講演Ⅱ「DesktopMetal社（米国）金属3Dプリンタの最新技術について」
アルテック株式会社 第2産業機械事業部 岩本 晃輔 氏
講演Ⅲ「Additive Manufacturingの医療への応用」
広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 医療システム工学分野 教授 村山 長 氏



第2回セミナーの様子

お問い合わせ 研究開発支援センター TEL 082-240-7712 FAX 082-242-7709 E-mail: maxkenkyu@hiwave.or.jp

新規サービス
Made in Hiroshima
記念品、販促ツール、プレゼントに！
広島発のpeaceブランド「EARTH Hiroshima」

EARTH Hiroshimaは広島の製造業とクリエイターが連携し、平和への願いを込めたグッズを創り世界へ届けます。折り鶴チャーム等、広島ならではのデザインや技術が詰まったアイテムは、県外や海外の方に広島らしさを感じる贈り物としてぴったり！会社の記念品やお客様への贈り物として、お手頃な価格から注文いただけます。

ご注文額3万円以上で送料無料（一部離島除く）、8万円以上で10%OFF！名入れ等のご希望もご相談ください。



株式会社ソアラサービス

〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11 和光広瀬ビルSO@Rビジネスポート4F
TEL 082-532-5662 FAX 082-532-5663
<https://earth-hiroshima.jp/>
E-mail:info@earth-hiroshima.com
〔担当者名〕西岡 梓

新製品
最大出力7W切開性能に優れる
低価格ダイオードレーザー
歯科用ダイオードレーザー「Sheep810」

低価格で、歯科・口腔外科にて切開、止血、凝固、蒸散に効果的なダイオードレーザーです。

波長808nmのレーザー光を用いているので高い止血効果が特長です。最大出力7Wでありながら小型・軽量のハンディタイプなので携帯性に優れます。

用途に合わせて選べる先端チップを複数用意しております。



株式会社ユニタック

〒722-0212 尾道市美ノ郷町本郷字新本郷1-60
TEL 0848-40-0390 FAX 0848-40-0391
<http://www.unitac.net>
E-mail:office@unitac.net
〔担当者名〕メディカルヘルス事業 高橋 幸美

新規サービス
切断、曲げ、溶接、仕上、粉体塗装の一貫生産により
御希望の形を実現いたします
ステンレス、アルミ、スチールの精密板金加工

・ステンレスのHL仕上やバフ仕上を社内で行うことにより、より細かい仕上を実現します。食品製造、IT、医療など、幅広い業界との取引実績があります。



・ベトナム事務所の3Dデータ作成により素早い展開業務を実現しています。



株式会社広島メタルワーク

〒738-0513 広島市佐伯区湯来町大字伏谷1322-5
TEL 0829-86-1555 FAX 0829-86-1556
<http://h-metal.co.jp>
〔担当者名〕営業 松岡

新製品
時代を変える高性能な次世代標準チャック
新型標準チャック BRシリーズ

高性能な新型スタンダードチャックBRシリーズ。把握精度0.01mmT.I.R.以下を実現した高精度チャックは、仕上げ加工にも最適。新技術のPlus-Tナット（オプション）の使用で、ジョーを脱着しても再現精度0.01mmT.I.R.以下を実現。段取り時間の大幅な削減を可能にする。ジョーの浮上りを軽減し、安定した加工精度を提供。サイズは6、8、10、12インチのバリエーションから選択可能。



株式会社北川鉄工所

〒726-8610 広島県府中市元町77-1
TEL 0847-55-1110 FAX 0847-45-8911
<http://www.kiwi.co.jp>
E-mail:kitagawa-info@kiwi.co.jp
〔担当者名〕グローバルハンドカンパニー 営業部 営業推進室 作本 実乃里

賛助会員募集のご案内

本財団は、企業の新技術・新製品開発、創業・新事業展開、経営革新、経営基盤の強化、国際化等の取組みを総合的にバックアップする公益法人です。本財団の様々な活動は、賛助会員のご協力によって支えられており、事業の充実と県内の地域ニーズに応じた活動を展開するため、賛助会員を募集しています。賛助会員（一般、国際）に加入いただきますと、財団情報誌の無料配付や、セミナー・講演会等の優先案内・参加料の割引など、各種特典がございます。皆様のご賛同を心よりお願い申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先 賛助会員（一般）：総務企画グループ TEL.082-240-7715 FAX.082-242-8627
賛助会員（国際）：国際ビジネス支援センター TEL.082-248-1400 FAX.082-242-8628